

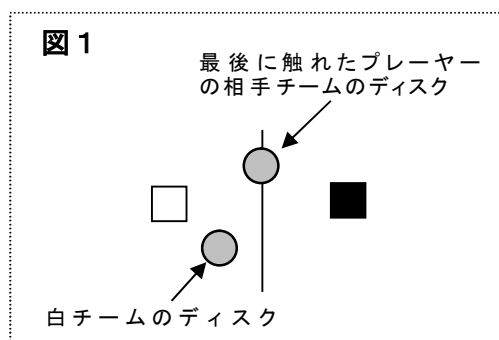
## 田原市教育委員会ディスクドッチ特別ルール

### ★進行・勝敗★

- ・試合は1試合8分間で行います。ただし、内野が0人になった時点でゲーム終了となります。
- ・4分経過後、1度試合をとめディスクをもう1枚投入します。
- ・試合終了時の内野人数が多いチームを勝者とします。

### ★共通の注意点★

- ・ラインを踏んでディスクを投げたりキャッチした場合は相手チームのディスクになります。
- ・プレー（投げる・キャッチ）後にラインを踏み越して相手コートの中に入ったり、ジャンプして着地したときに、ラインを踏んだり、相手コートに入ってしまうのも相手チームのディスクになります。
- ・空中にある場合を除いて相手コート内にあるディスクを拾ってははいけません。
- ・ライン上で静止したディスクは、最後にディスクに触れたプレーヤーの相手チームのディスクとなります。(※図1参照)。



- ・内野同士のパス、ディスクがラインを横切らない外野同士のパスは禁止します。
- ・ディスクをキャッチしたら5秒以内に投げる（ずっと持っているとは相手ディスクになります）。
- ・ディスクのパスは3パスまでとし、4パスしたら相手チームのディスクとなります。
- ・手の甲が前を向いている投げ方（オーバースロー時）は違反投球とします。手の甲が前を向いていた場合、ディスクを構えた時点で反則とし、相手チームのディスクとなります。

### ★内野注意点★

- ・内野プレーヤーは、相手チームにディスクを当てられたら外野に移動します。
- ・体のどの部分に当たってもアウトになります。
- ・2名以上のプレーヤーがノーバウンドで、連続でディスクに当たった場合は、当たった全員がアウトとなり外野に移動します。
- ・相手が投球したときファールがあった場合は、当たってもセーフとします。
- ・地面についたディスクは、当たってもセーフとします。
- ・ディスクが当たっても、そのディスクが地面に着く前に、味方がキャッチした場合はセーフとします。

**★外野注意点★**

- ・外野プレイヤーは、縦・横の3方向からディスクを投げるができます。  
※明らかに遅延行為と思われるプレー、スポーツマンシップに反するプレーに関しては、審判の判断で反則とします。
- ・外野（ゲームスタート時の外野も含む）のプレイヤーは、外野に1人以上残っている時に相手チームの内野にディスクを当てたら内野に戻ることができます。（戻らなくても可）
- ・外野プレイヤーは当てたらすみやかに内野に移動しなければなりません（時間を置いてからの移動は無効となります）。
- ・外野において、ディスクを持ったまま別サイドへの移動はOKとします。  
（※図2参照）。

